

地域と共に歩んだ130年

1895

足利地方の織物業は、輸出向け織物の急速な増加によって生産が飛躍的に伸展し、生産様式も近代的大規模工場経営への転換が進められ、資金需要が著しく増加。

織物業をはじめとする商工業者の資金需要に応えるため、地元有志の出資により**私立銀行**として設立。



資金の都合から初代頭取の親族宅を借用

1897

▶第1号支店 桐生支店開設

1927

▶栃木県金庫事務取り扱い開始

1908

[2代目本店落成]

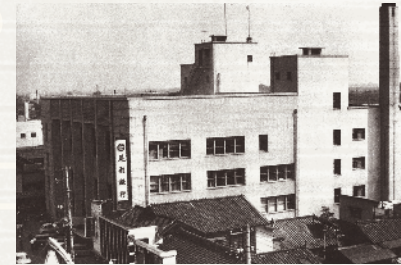


1920

▶佐野銀行を合併

1958

[3代目本店改築(現足利商工会議所)]



1944

昭和11年 政府が
“一県一行主義”を表明

大正9年の佐野銀行合併を皮切りに、栃木・埼玉両県下の6行を合併、営業を譲り受けた銀行は12行となり、昭和18年普通銀行で貯蓄業務の兼営が可能となったことから、昭和19年下毛貯蓄銀行を譲り受け、**当行の栃木県における普通銀行の一県一行体制が完成。**

1967

栃木県内の経済は著しく発展。県内金融の中枢機関となっていた当行の役割はさらに大きくなり、本店を県都宇都宮市に移転すべきとする声が起こる。

[本店を宇都宮へ移転(4代目)]



取引層もこれまでの繊維中心から多面的な業種・分野へと拡大変化。業容の拡大と地元の発展に貢献すべく、名実ともに栃木県の中心である**宇都宮市に本店を移転。**

1988

▶「栃木県経済同友会」設立
▶栃木県内初のシンクタンク「財団法人とちぎ総合研究機構」設立

1985

金融の自由化の進展、情報システムの発達など、人々の暮らしの中での銀行の役割の機能が変化。

▶CIシステム導入
時代とともに歩む銀行としての新しい企業イメージ確立のため、CIシステムを導入し、**新しいシンボルマーク「ウイングA」を制定。**



▶「財団法人あしぎん国際交流財団」設立

1973

▶CD(キャッシュディスペンサー)設置開始

2000

▶「あしぎんインターネットバンキング・モバイルバンキングサービス」取り扱い開始

金利や業務の自由化の進展に合わせて広告の自主規制も緩和し、銀行のテレビコマーシャルが解禁。

1991

1月1日より関東エリアを対象に**CM放送を開始**。当行名(アシカガ)と語呂を合わせてアシカを起用し大きな話題を集めた。全日本CM協議会の「'91年CMフェスティバル金融・保険・不動産部門」で最優秀賞を受賞。



1998

▶投資信託窓口販売業務開始

2002

▶確定拠出型年金取り扱い開始
▶生命保険窓口販売業務開始

2003

▶特別危機管理開始決定

2004

▶委員会等設置会社へ移行

2009

▶銀行本体発行クレジットカード「GOODYカード」取り扱い開始



▶がん保険、医療保険、一時払終身保険の販売開始
▶あしぎん総合研究所設立

2008

▶足利ホールディングス設立
▶特別危機管理終了
足利ホールディングスによる足利銀行の完全子会社化

2010

▶金融商品仲介業務開始

2015

▶香港駐在員事務所開設

2011

東日本大震災への対応

休日相談窓口、休日相談専用ダイヤル設置等被災した方々の相談へ迅速に対応。栃木県への災害復興義援金寄附、放射線測定装置寄贈、観光復興PRキャンペーン支援等実施。

2013

▶足利ホールディングス東京証券取引所第一部に上場

2016

足利ホールディングスと常陽銀行が経営統合し、**めぶぎフィナンシャルグループを発足。**



両行が共通の理念のもと、より広範な視点から地域の課題解決に臨むことにより、単独で事業運営する以上の力を発揮し、豊かさの創造を実現していくことが有効かつ有益と判断。

2017

▶バンコク駐在員事務所開設

2019

SDGsが2015年国連サミットで採択。関連支援商品の取り扱いを開始。

「あしぎんSDGs私募債」(2019年)
「SDGs宣言書策定支援サービス」(2022年)等

▶人材紹介業務開始
▶信託業務(遺言信託・遺産整理業務)の自行取り扱い開始

2020

▶個人向けコンサルティング業務に特化した営業店「ブロック個人営業部」を設置
迅速に適切なご提案・アドバイスが実践できる体制を実現。
▶栃木県「新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援寄附金」へ寄附

2022

▶「カーボン・マネジメントコンサルティングサービス」取り扱い開始

事業活動によって排出される温室効果ガス排出量の算定から削減目標の設定、削減まで脱炭素化を支援。

▶栃木県の地元企業との共同出資により地域商社(株)コレトチ設立

▶「りょうもう地域活性化パートナーシップ」締結

足利銀行と群馬銀行が主要かつ重要な営業エリアと位置付ける両毛地区において、互いのノウハウを共有し協業することで、地域の活性化に大きく貢献することを目的とした取り組み。

りょうもう
地域活性化
partnership

2021

▶「足利銀行アプリ」の提供開始
▶投資専門子会社(株)ウイング・キャピタル・パートナーズ設立
▶金融商品仲介専門子会社(株)あしぎんマネーデザイン設立

2023

▶株コレトチが電力事業に参入
再生可能エネルギーの地産地消を進め、カーボンニュートラルへの取り組みを支援。

2025

▶「健康経営支援サービス」の取り扱い開始

人材不足が深刻化する中、人材確保・定着に向けた企業価値向上の取り組みを支援。

2024

▶「グリーン預金」の取り扱い開始
▶生成AI「ChatGPT」の活用開始